

# 身近な植木

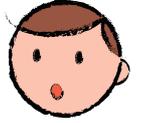
どこから来るかご存知ですか??



## 注目

植木屋さんが育てた木を、「植木」と呼びます。  
自然に生えている木は、植木と呼びません。

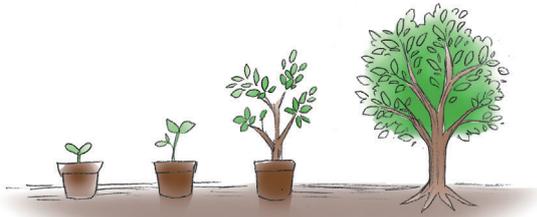
植木屋さんが育てた木が、  
公園や道路に植えられているんだね。



## 植木屋さんのお仕事

1

植木を育てる



種類によっては、ビニールハウスで育てたりして、その木に合った工夫がされているのよ。



2

植木のかたちをつくる

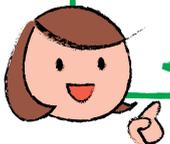


3

植木を掘る

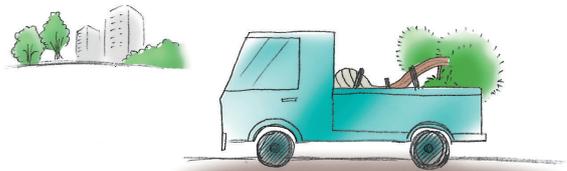


大きくて重たい木は、クレーンで持ち上げて運んだりするみたいよ。

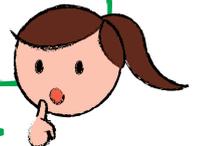


4

植木を出荷する



もしかして私たちの学校の校庭の木も、植木屋さんが育てた木なのかしら??



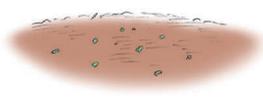
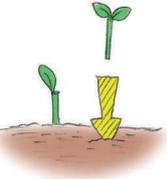
でも、あんなに大きな木、  
どうやって育てるのかな??



注目

植木は畑に植えられて育てます。  
 しかし、ただ植えておくだけではありません。  
 植木屋さんのお仕事をもう少し詳しく見てみましょう。

**植木をふやす**

- ・たねをまいてふやす  

- ・さし木でふやす  
 植物の一部を切りとり土にさしてふやします。同じ性質の植木を多くふやすことができます。  

- ・つぎ木でふやす  
 根のある木(台木)に、ほかの植物の一部をつぎあわせませす。さし木でふやせない植木をふやすことができます。  


**水・肥料(ひりょう)をあげる**

人が食事をするように、植木も食事をします。植木の食事とは「水・肥料」のこと。水・肥料をあげると、木はとっても元気になり、病気にかかりにくく、まっすぐ大きく育ちます。



**草をむしる**

雑草が生えていると、せっかくあげた肥料が雑草に取られてしまいます。草むしりも大切な仕事です。



**消毒をする**

植木も人と同じように病気になります。人が薬を飲むように、植木には薬をかけてあげます。そして悪い虫が付いていたらすぐに追い払います。

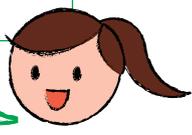


**剪定(せんてい)をする**

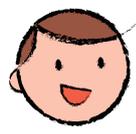
成長を調整したり、形を整えたりするために枝の一部を切り取る事を、剪定といいます。形を整えるだけでなく、光と空気を入りやすくすることで、病気にかかりにくくなります。曲がった枝も、支柱をあててまっすぐにします。



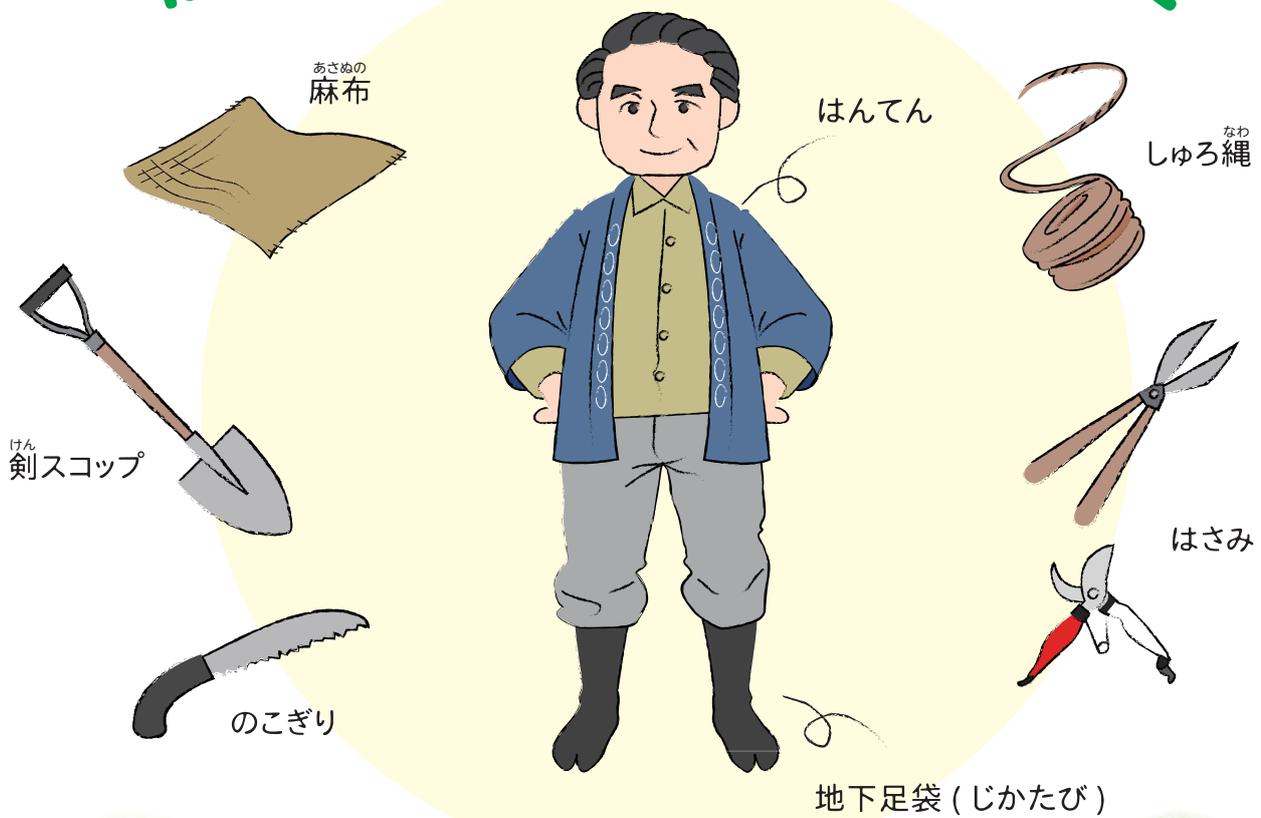
中には高さが約10メートルにもなる木もあるんですって。剪定(せんてい)のとき、機械を使わないと一番上に届かないみたい。



学校の校庭に植えてある木や公園の木は、木の畑で大切に育てられていたんだね。



# うえき や 植木屋さんスタイルと道具

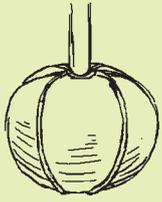




# 植木の植えつけ方

準備するもの… ハサミ、<sup>ぐんて</sup>軍手、スコップ、十分な量の水

植木を準備したら、できるだけ早く  
植えつけを行うと枯れる心配が減ります！



## あさめの 麻布・麻縄の場合

そのまま植えつけます。  
麻布は外さないでください。  
※麻布は数ヶ月経つと土にかえります。



## ふねんし 不燃紙ポットの場合

ハサミでポットを切りはがして  
植えつけます。土はなるべく崩さないようにします。切りはがした後は水をかけないでください。

◆ 全ての作業は植える場所の近くで行いましょう ◆

### 1. 鉢に水をかける

鉢にたっぷりの水をかけます。

※地中ポットだったものは、切ってはがし根がむき出しの状態にしますが、土が落ちてしまうので水はかけないでください。



### 2. 縛ってある紐を切る

先から真ん中くらいの紐を外します。

※全部の紐を外すと作業がやりにくくなる場合があります。

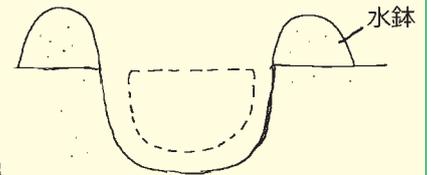
この辺りの紐をはずす



### 3. 穴を掘る

木を植える場所を決めたらスコップで穴を掘ります。  
穴の大きさの目安は鉢の1.1~1.2倍程度が目安です。  
土を入れ替える時は、2倍程の穴を掘ります。

だいたい鉢の1.1~1.2倍の大きさ



### 4. 穴と水鉢の完成

まず穴の大きさを決めて、掘り上げた土を穴の周りに置いていくと水鉢ができます。



掘り上げた土を  
土手にする

### 5. 植え付ける

穴に木を入れます。重い木は転がして入れてもOK！  
気持ち高植えになるように（根の付け根が地上から3cmほど出るように）調整します。

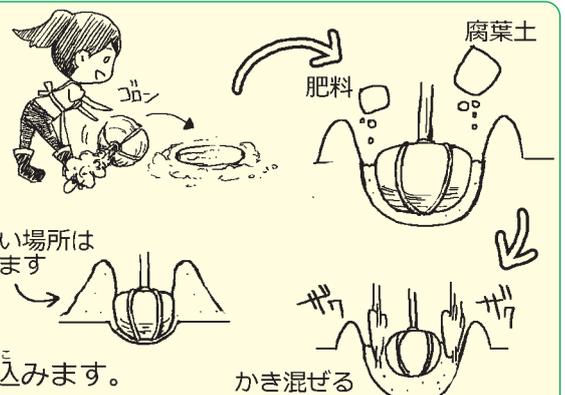
深植えは枯れる原因となる場合があります。

この時にだいたいの木の向きも決めます。

そして、土手を崩さずたくさんの土をかぶせます。

肥料や腐葉土などはこの時にスコップでかき混ぜる様に混ぜ込みます。

水はけの悪い場所は  
高植えにします



かき混ぜる

## 6. 水ぎめをする

土で作った土手を壊さないように、かつ、あふれそうなくらいたっぷり注ぎます。

### ■ ポイントは土を流し込むように！

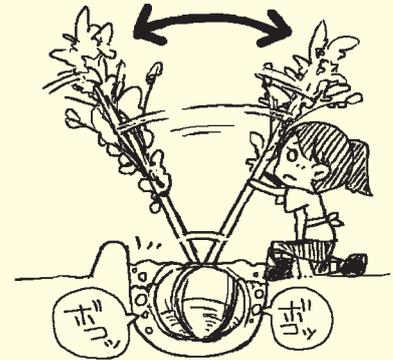
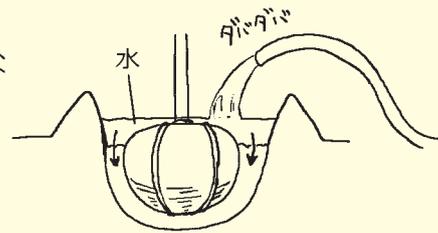
流し込んだ土が水で締め、樹木が固定されます。

水を注ぎながら、木を大きく動かして鉢の中にある空気を完璧に抜きます。これを水ぎめといいます。

※ 幹を持って鉢を四方にぐりぐり傾けるとボコボコッと音がして空気が抜けます。空気が抜けて水の水位が下がった時は、再度いっぱいになるように水を足します。これを繰り返して、木をぐりぐり回しても水位が変わらないようになるまでやります。

※ 木の幹が折れない程度に大胆に幹を傾けてください。

幹の角度は後から調節できます。



## 7. 木姿を整える

空気が抜けたら残りの紐を切り、水ぎめで固定される前に植木の角度や向きを調節します。

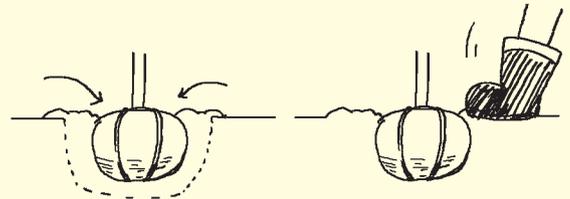
そして、水が引いて土が固まるまで置いておきましょう。



## 8. 土を踏み固める

水が乾いたら、周りの水鉢を崩しながら鉢を埋めていき、踏み固めます。

この時、木がぐらついていないか確認しましょう。



## 完成

これで木の植栽は完成です！ お疲れ様でした！

続いて支柱のつけ方になります。



### ※ 植えつけた後の水やりのポイント

土の乾燥具合を見て、乾いているようであればたっぷり水をあげましょう。

その際にはまた水鉢を作ってあげると効果的です。

特に夏場や植え付け1年目は、水の管理には十分に注意して下さい。

### ※ 植えつけたばかりの植木の様子

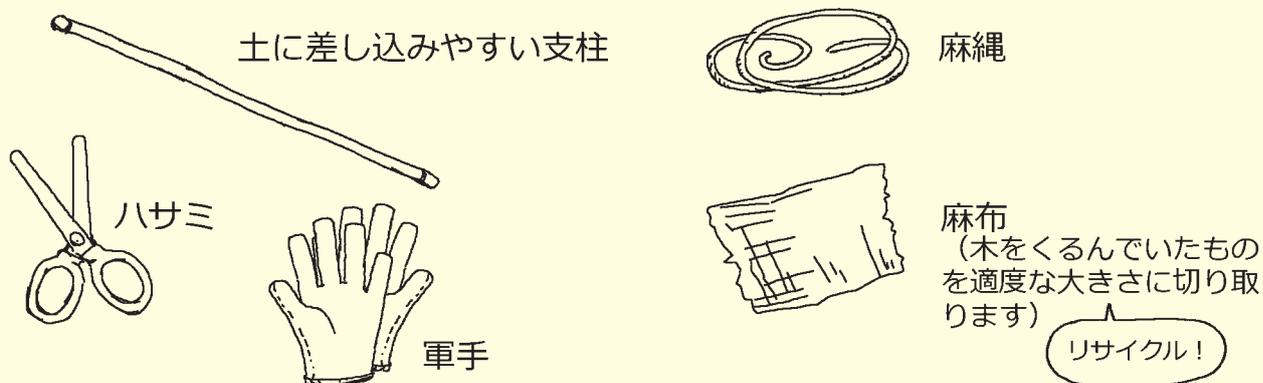
植物は環境が変わると、その環境に慣れる為に自ら葉を落として根と葉のバランスを調整します。その為、少し落葉したりすることがありますが問題ありません。

しばらく様子を見ていただき、さらに具合が悪くなるようであれば、専門家にご相談下さい。

# 支柱のつけ方

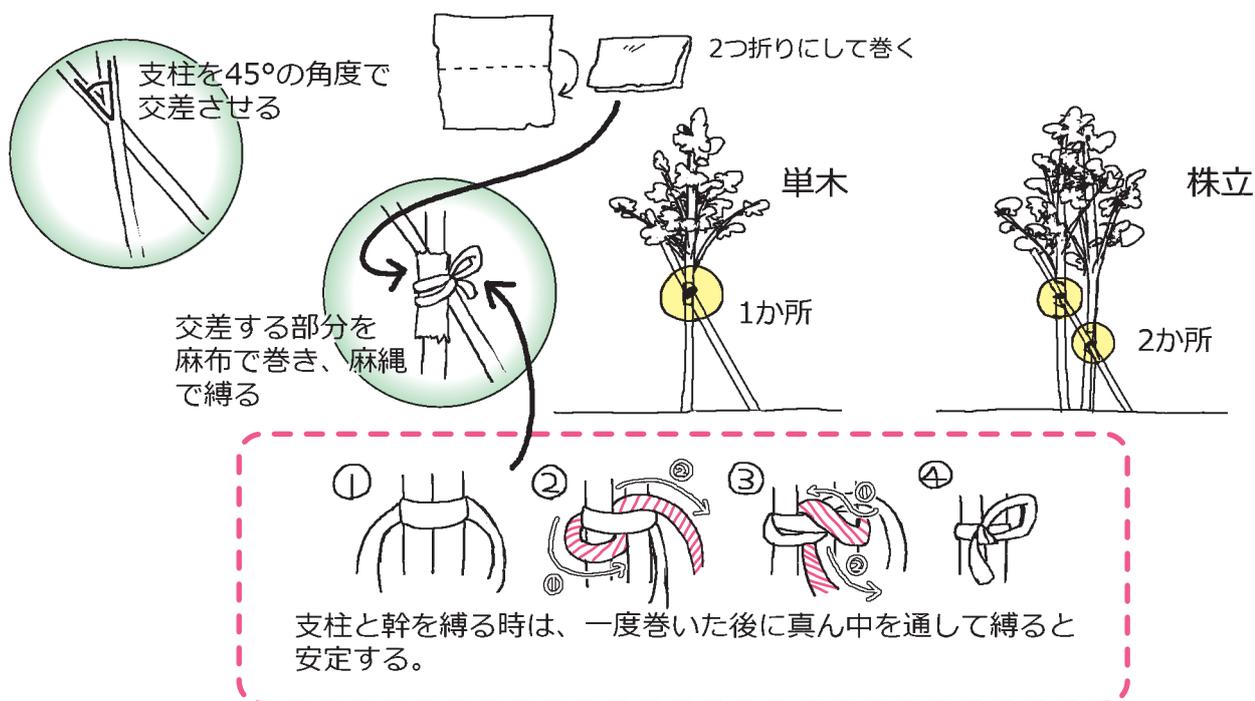
植え込み直後はしっかりと定植できたとしても強い風などで木が倒れる場合があります。なので支柱をしておくことをお勧めします！

## 準備するもの…



まず、庭木に対して約45度の角度で交差するように支柱を深く差しこみます。  
※支柱は曲がりやすいので、下の方を持って差し込みます。

そして、交差するところを麻縄で結びます。  
支柱と幹を縛る際には、当て布（麻布）を木の幹に巻いてから縛ると幹を傷つけません。  
※株立ちの場合は、幹と支柱が2か所交差するように差し込んでください。

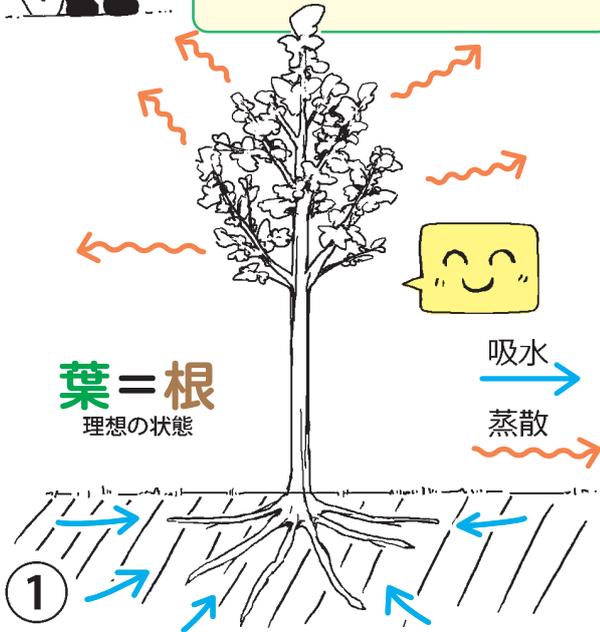


これで支柱も完成です！  
樹形が安定してきたら支柱を外してください。支柱は1年～2年が目安です。

# せんてい ふたん へ 剪定は木の負担を減らす役割があります

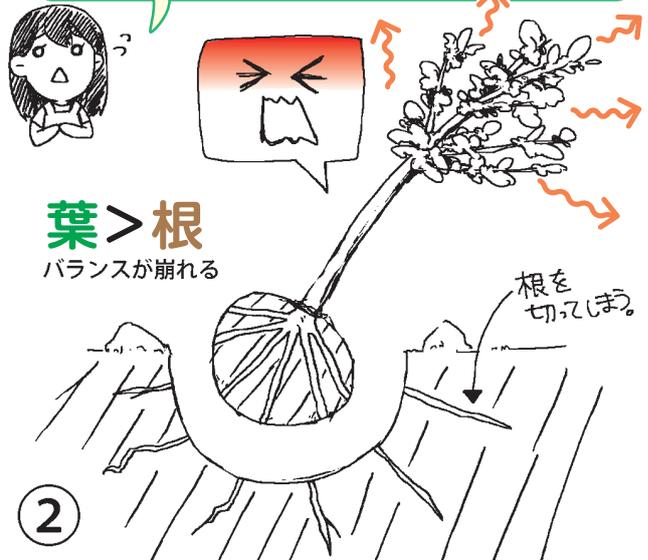


樹木は普段、葉の蒸散と根からの吸水のバランスが整っている状態です。

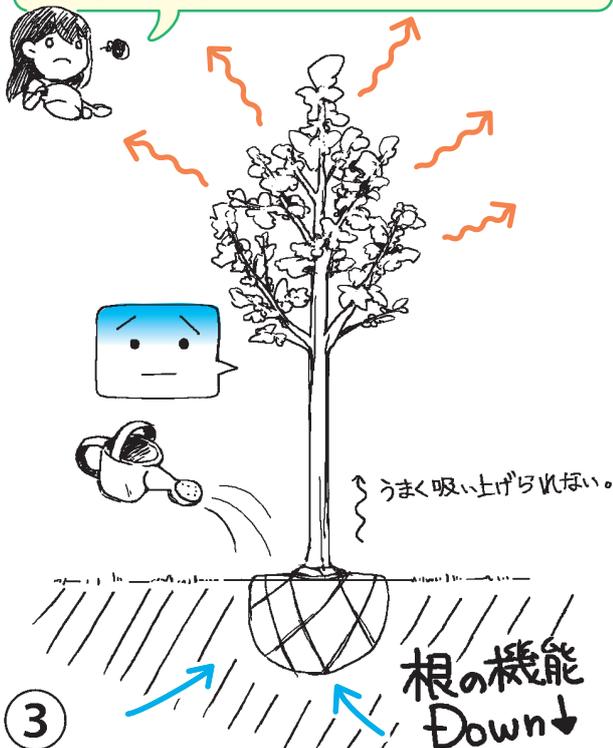


しかし、出荷にともない根が切られることにより吸い上げられる水分量が減ります。現在、その状態です。

葉の蒸散に水分が追いつかない為、葉がしおれ始めたり、時間をかけてだんだん枯れることも。



水分を与えることもとても重要ですが、そもそも水分を吸い上げる機能が低下しています。



植栽後、さらに多少の剪定をして頂くと枯れる心配が減ります。

※落葉期の落葉樹も多少剪定をしてあげると、根付きがよくなります。

